

外国人スタッフ受入研修

■ねらい

エンジニアを中心に増加している外国人スタッフを受入れる際の心構えや日本と海外との文化の違いを理解し、スタッフが気持ち良く働ける職場環境づくりを目指します。

外国人スタッフが戸惑うであろう「常識」などの明文化、戸惑いやすい場面を想定したケーススタディを通し、どのように解決していくかを考え、事例を交えながら対応方法のコツや育成・指導ポイントを学びます。

■テーマ概要

対象：外国人スタッフを受け入れる現場の管理職・リーダー・メンバー、採用担当者の方

時間：1日（6時間）

人数：20名

■カリキュラム一例

項目	内容
1. オリエンテーション	(1) 外国人スタッフと協働することについて考えてみる (2) 現在直面している悩みなどを共有する ・外国人スタッフがお客様のお子様に勝手にお菓子をあげてしまう
2. 異文化とは何か	(1) 文化の違いを知る (2) 当たり前が違うということ (3) 立場を変えて考える ・日本でよくある「暗黙の了解」「常識」は通じない？
3. 外国人スタッフとのコミュニケーション	(1) 簡単な日本語を使う (2) 外国人スタッフが持ちがちな不安・悩みを知ろう (3) 受け入れ態勢を準備しておく ・成果に対しての意識の違い、日本人は細かすぎる？
4. ともに働くうえでのビジネスマナーの基本を共有する	(1) 日本の仕事のやり方と海外の違い (2) これだけは守ってほしいことの共有 ・お客様は神様！？なんて理解できない
5. 外国人スタッフと、ともに“協働”していくために	(1) 受け入れの際の役割は (2) 時間の感覚・評価基準 (3) ルールを作る (4) 共通言語を創る ・外国人スタッフが遅刻を繰り返すがカイゼンせず悩んでいる